

★ Alumnae

★ Alumnae 「アルムネー」はラテン語で「女子卒業生」という意味です。★

大学の今

～「人を支え、輝く。」ふたたび～

学長 石原 敬子



コロナ禍やロシアによるウクライナ攻撃など、近年は世界中を直接・間接的に巻き込み、人々の生活を大きく変えるようなできごとが起きています。また、コロナ禍に後押しをされたデジタル技術の急速な発達も含め、現代はVUCA（ブーカ）時代と呼ばれています（Volatility＝変動性、Uncertainty＝不確実性、Complexity＝複雑性、Ambiguity＝曖昧性から）。そのような急速に変化する「人生100年時代」において、年齢に捉われることなく能力や専門性を高める学び直しを促進するための環境整備が強く求められています。

本学においても、社会人の学び直しの機会として、英語観光学科及び心理こども学科における「聴講生制度」「科目等履修生制度」「編入学生制度」や一般の方のみで授業を行う「生涯学習制度」があります。聴講生制度以下3つの制度の違いは、主に1学期間に履修で



学修支援室に勤務する卒業生(中央)

きる上限単位数や単位認定の有無です。これまで、科目等履修生として認定心理士資格を取得し、現在は本学の学修支援室の

相談員を務める卒業生や、既に保育士資格を取得して仕事をしており、新たにキャリアの幅を広げようと幼稚園教諭資格の取得に必要な科目を履修している卒業生などがおられます。また、2023年度より新たに心理こども学科への編入学も可能となりました。ご自身の卒業学科と関係なく学修が可能です。

このような学び直しの機会をさらに充実させていこうと、現在、新たなプログラムの設定に関する審議を繰り返しています。具体的に今検討されているのが、科目等履修生制度の発展型です。個人が取りたい科目をアラカルト的に履修する従来の科目等履修とは異なり、例えば「心理学」「子ども学」「ホスピタリティ」など本学がもつ専門領域を基礎から応用まで体系的に学ぶことができるよう、科目群を提示する計画です。興味がおありの皆さまは、続報をお待ちください。

本学での学び直しのための教育機会の根底にある理念は、やはり本学院の設立母体であるマリアの宣教者フランシスコ修道会の創設者、Sr. マリ・ド・ラ・パシオンが信念とした「真理と愛に生きる」ことです。真理を探究し、学びを、人を支えることに繋げていただければ嬉しく存じます。

「人を支え、輝く。」ふたたび。



P2 総会・イベント報告
P5 東京支部のページ

P4 大学祭報告
P6・P7 同窓生だより